令和 8(2026)年度
日本体育大学大学院 保健医療学研究科
博士課程 学生募集要項

本研究科入学試験の出願手続きはインターネット出願（以下、Web 出願という。）となります。

出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。

なお、Web 出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や試験実施内容等に変更が生じる場合があります。

試験実施に関する変更等については、本学のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

その他の入試に関する最新情報についても公表しますので、随時確認してください。

目　次

Ⅰ．保健医療学研究科が定める３つのポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
保健医療学研究科博士課程の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

Ⅱ．受験要領
１．専攻及び募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
２．出願資格・・・6
３．入学試験日程等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
４．選抜区分及び出願要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
出願資格認定審査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
５．出願書類　・・・9
在留外国人の方・外国の学校出身の方へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
６．出願手続・・12
７．障がいのある入学志願者の事前相談について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
８．受験票について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
９．選抜要領・・・13
10．受験上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
11．合格発表・・・14
12．入学手続・・・14
13．学　　費・・・15

Ⅲ．2026 年度　研究指導担当教員及び研究指導領域【博士課程】・・・・・・・・・・・・・・・・・16
【博士課程】研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

《Web 出願の流れ、出願写真に関する注意事項》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（巻末）

《各種様式・所定用紙等》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（別添）
博士課程提出用紙
「履歴書（所定用紙１）」、「研究業績一覧(様式)」、「志望理由及び研究計画書（所定用紙２）」、「承諾書（所定用紙３）」、「在職証明書（所定用紙４）」、「入学試験に係る事前相談について」
出願資格認定審査申請書類
「出願資格認定審査申請書（出願資格認定審査　所定用紙１）」、「学歴・職歴調書（出願資格認定審査　所定用紙２）」、「志望理由及び研究計画書（出願資格認定審査　所定用紙３）」、「研究歴・指導歴概要書（出願資格認定審査　様式)」

出願者の提出書類について
出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学試験及び入学後の学内諸手続以外の目的には利用いたしません。
※Ⅰ期試験とⅡ期試験を受験する場合は、それぞれに願書が必要です。

Ⅰ．保健医療学研究科が定める３つのポリシー

運動器柔道整復学専攻

◎入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

ア．態度・志向性

① 柔道整復を実践する高度専門職業人として必要な高い倫理観と豊かな人間性を備えている者。

② 柔道整復の特性を活かして健康寿命の延長に貢献しようという強い意志のある者。

③ 将来、柔道整復の教育者、研究者、臨床現場の指導者になりたいと強く志望する者。

イ．姿勢・思考

① 生涯学び続ける姿勢を持ち、最新の知見・技術の獲得を怠らない者。

② 専門性を高めることに努め、科学的根拠に基づいて柔道整復術を実践しようとする者。

ウ．知識・技能

① 柔道整復師として基礎的な基礎医学及び臨床医学の知識を備えている者。

② 柔道整復師として基本的な臨床実技能力を備えている者。

◎教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

ア．柔道整復の臨床現場で生じる研究課題に対して科学的根拠に基づき検証する研究手法および発表能力を修得し、論文を作成・発表する能力を養成するため、特別指導科目として特別演習及び特別研究を配置する。

イ．運動器外傷の施術と予防に関する臨床研究を遂行するための前提となる最新の医科学的知識と技術の修得及び高度専門職業人として習得すべき知識と基礎医学に立脚した問題解決能力を養成するために必要な専門科目(専門分野)を配置する。

ウ．医療分野の教育者としての豊かな人間性、高い教育力と倫理観の醸成は欠かせないため、柔道整復領域の指導者・教育者の資質を養成する専門科目(専科教員養成科目)を配置する。

エ．開発途上国の人々の健康の維持・増進やスポーツ活動における外傷・障害に対する施術や発生予防の指導等により国際社会に貢献するため、開発途上国における医療現場及びスポーツに対する医療サポートの現場での実習科目を選択科目として配置する。

◎学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

ア．知識・理解

① 我が国の伝統医療である柔道整復術に関する歴史的背景、関係する法律を理解している。

② 柔道整復術の高度専門職業人として運動器疾患に関する高度の知識を身につけている。

③ スポーツによる運動器及び健康寿命への影響について高度の知識を身につけている。

イ．分野固有の能力

① 運動器外傷・障害に関する臨床研究を自律的に継続して実施し、柔道整復領域の学術的基盤の構築に寄与できる。

② 健康寿命の延長に貢献するため、運動器の抗老化（アンチエイジング）を安全かつ効果的に実施する運動プログラムを立案、指導することができる。

③ 柔道整復の施術所（接骨院・整骨院）の社会的役割を創造し、健康寿命の延長に対する臨床研究の成果を地域に還元することができる。

④ 開発途上国の医療・スポーツ分野において柔道整復の特徴を活かして活躍できる。

⑤ 柔道整復領域の教育、臨床、研究をシームレスに連結し、柔道整復師養成における教育手法やシス

テムを開発・検証することができる。

ウ．汎用的能力

① 柔道整復領域の教育者あるいは研究者として高い倫理観に基づき、主体的に問題を解決できる。

② 優れたコミュニケーション能力や協調性を有し、医療・福祉・スポーツ分野等他の関連する職種と連携することができる。

エ．態度・姿勢

① 柔道整復領域の教育者・研究者として高い倫理観、豊かな人間性と生涯学び続ける姿勢を持っている。

② 柔道整復術の実践により健康寿命の延長に医療の立場から貢献するという強い意志を持っている。

③ 最新の知見・技術の獲得を怠らず、専門性を高めることに努め、科学的根拠に基づいて柔道整復術を実践する姿勢を身につけている。

救急災害医療学専攻

◎入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本専攻は、救急災害医療分野における極めて高度な専門性を備えた人材の育成を目指す。以下のような資質を備えた入学者を求める。

ア．最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、自ら研究課題に取り組む意欲がある者。

イ．救急災害医療学における専門知識・技能・問題解決能力を有する者。

ウ．臨床現場における技術指導者や研究手法の指導者になりたいと強く志望すること。

エ．国際的な視点を持ち、優れたプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を有する者。

◎教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

ア．救急災害医療学分野の研究者として最新の医科学的知識と社会情勢を学ぶために、救急災害医療学特講を配置する。

イ．国際情勢を踏まえた各専門領域における最新の知識や技術に加え、社会の発展に寄与するために必要で専門的な研究手法と研究倫理について学ぶために、救急災害医療学演習、スポーツ救急特講、国際救急・災害システム演習を配置する。

ウ．救急災害医療学における研究課題に対して科学的根拠に基づき検証し、諸外国との国際的な比較をしながら自立して研究活動を実践するための特別指導科目として特別研究・特別演習を配置する。

救急災害医療学専攻では、幅広く深い学識の涵養を図り、救急災害医療分野おける研究者としての卓越した能力を培うために、本専攻は上述の方針で理論的知識を基礎とし、「新時代の大学院教育」に記載されている課程制大学院制度に沿った教育目標を設定し、臨床・教育現場で自立して研究活動ができる体系的なカリキュラムを編成する。

◎学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

ア．最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、自立して研究活動を行う能力。

イ．国際的な視野と高い倫理観を有し、社会の発展に貢献できる能力。

ウ．救急災害医療に携わる医療人としてのプロフェッショナル・オートノミーを有し、研究成果を国内外に向けて発信する能力。

保健医療学研究科博士課程の概要

日本体育大学大学院保健医療学研究科博士課程は運動器柔道整復学専攻、救急災害医療学専攻の 2 専攻をもって構成されています。

１．目　　的

広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的としています。

２．研究科の構成

（1）運動器柔道整復学専攻
（2）救急災害医療学専攻

３．課程修了の要件・学位

本研究科に 3 年以上在学し、運動器柔道整復学専攻は 16 単位以上、救急災害医療学専攻は 28 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者には以下の学位が授与されます。

・運動器柔道整復学専攻「博士（柔道整復学)」
・救急災害医療学専攻「博士（救急災害医療学)」

４．取得可能な免許状（資格）について

［運動器柔道整復学専攻］

柔道整復師専科教員の認定を受けようとする場合は、柔道整復師の免許を有し、5 年以上の柔道整復師としての実務経験と厚労大臣指定の講習会の修了が必要となります。

本研究科では、柔道整復師の免許を有し、3 年間の博士課程を経て、その間、実務経験をする等、あるいは、修了後に実務経験を続ける等により、5 年の実務経験を満たした時点以降に修了を認めることが可能となります。

Ⅱ．受験要領

１．専攻及び募集人員

課程	専攻	募集人員（Ⅰ期募集、Ⅱ期募集あわせて）
博士課程	運動器柔道整復学専攻	2 名
	救急災害医療学専攻	2 名

２．出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

（１）修士の学位を有する者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（２）専門職学位を有する者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（３）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（５）我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（６）学校教育法施行規則第 156 条第 4 号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（７）学校教育法施行規則第156条第5号の規定による外国の学校等において、大学院設置基準第16 条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

（８）文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

（９）本学大学院において行う個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに 24 歳に達する者

※重要

出願資格(8)（9）の該当者は、事前に出願資格認定審査が必要です。 8 頁で確認し手続きをしてください。出願資格認定審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された者は本研究科の入学試験に出願することができます。

３．入学試験日程等

	Ⅰ期試験	Ⅱ期試験
出　願　期　間 （Web 出願登録、出願書類受付期間）	2025 年 10 月 3 日(金)～ 2025 年 10 月 10 日(金)	2025 年 12 月 22 日(月)～ 2026 年 1 月 9 日(金)
試　　験　　日	2025 年 11 月 8 日(土)	2026 年 2 月 7 日(土)
合 格 発 表 日	2025 年 11 月 14 日(金)	2026 年 2 月 13 日(金)
入学手続締切日	2025 年 11 月 28 日(金)	2026 年 2 月 27 日(金)

４．選抜区分及び出願要件

選抜区分	出願要件
一 般 選 抜	「２.出願資格」に該当する者
社会人選抜	「２.出願資格」に該当し、且つ以下の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1)入学時に 27 歳に達する者で、有職者として 3 年以上の経験年数を有する者 (2)青年海外協力隊等で海外における社会貢献活動の経験が入学時に原則として 2 年以上ある者

※出願資格(8)、(9)の該当者は、事前に出願資格認定審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された場合に**一般選抜**にて出願することができます。

≪出願資格認定審査について≫

本学大学院研究科では、「学校教育施行規則第 155 条第 1 項第 8 号の規定」により、「出願資格（8)、(9)」に該当する出願資格認定対象となる方について、出願資格の有無を判定するために予備審査を行います。

「出願資格認定審査」は、入学者選抜試験ではありませんので注意してください。

■審査基準

（8）文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（9）本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力がある と認めた者で、入学時までに 24 歳に達する者

※「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」とは、①及び②の基準を満たす者とする。

① 研究歴等について 《次のいずれかに該当する者》

a.大学を卒業後、各種の教育・研究機関等において研究または指導に従事した期間が 2 年以上ある者

b.6 年制課程の医学部・歯学部・獣医学部・薬学部を卒業した者

② 研究業績等について 《次のいずれかに該当する者》

a. 著書、学術論文等において、修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績（学会誌に掲載された学術論文等）を有する者

b. 医師免許・歯科医師免許・獣医師免許・薬剤師免許を有する者

■出願資格認定審査要領

審査を希望する方は、必ず大学院教学センターまで事前相談を済ませた上で申請願います。

出願資格認定審査には下記書類の提出が必要になります。提出期日等を確認の上、お早目にご準備ください。

事前相談を済ませていない場合は申請できません。また、上記条件を満たした方すべてに受験資格が認められるとは限りませんのでご注意ください。

※出願資格認定審査に提出した書類内容に虚偽が発生した場合は、入学試験に合格した場合でも合格の取り消しとなりますので、ご注意願います。

・提出書類

① 出願資格認定審査申請書（出願資格認定審査　所定用紙 1）
② 学歴・職歴調書（出願資格認定審査　所定用紙 2）
③ 研究歴・指導歴概要書（出願資格認定審査　様式）･･･自身の代表的な論文（コピー可）を 3 編まで添付すること
④ 志望理由及び研究計画書（出願資格認定審査　所定用紙 3）
⑤ 出願資格を証明する書類（研究歴、研究業績を証明するもの）

・提出方法

封筒に、「出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、必ず「**速達・特定記録郵便**」で必要な書類を郵送してください。（「特定記録郵便等受領証」を保管しておいてください。）

・提出先　〒158-8508　東京都世田谷区深沢 7 - 1 - 1　日本体育大学 大学院教学センター

・書類提出期限（郵送のみ）

Ⅰ期試験：2025 年 9 月 5 日（金）必着
Ⅱ期試験：2025 年 12 月 1 日（月）必着

・審査結果　Ⅰ期：2025 年 9 月 12 日、Ⅱ期：2025 年 12 月 12 日　登録されたメールアドレスに結果をお知らせします。

５．出願書類

●：全員提出　△：該当者のみ提出

（注意：提出書類について） 提出書類のサイズは全て「A4 サイズ：片面印刷」で提出してください。		提出該当者	
出願書類	連絡事項・注意事項	一般選抜	社会人選抜
(1)志願票・写真票	Web 出願完了後、Web 出願サイトより印刷してください。 余白および志願票・写真票は切り離してください。	●	●
(2)履歴書 （所定用紙１）	「学歴」欄は高等学校から記入してください。但し、外国の学校教育を受けたことがある者は小学校から記入してください。 大学、研究所等で研究生等として研究歴がある場合は、その期間も記入してください。	●	●
(3)研究業績一覧 （様式） 自身の代表的な論文(コピー可)を３編まで添付すること	・ 様式については、同様のものをパソコン等で作成したものでも可とする。 ・ 著書、学術論文、翻訳、学会発表等を「著書」・「学術論文」・「その他」に区分し、それぞれの業績を年代順に記載してください。 また、「学位論文」（修士論文または博士論文）は最後に記載してください。 ・ 概要欄は、論文、著書等ごとに 200 字程度で記入してください。共著の場合は担当部分及びページ数を明記し、全員の氏名を記載し、本人氏名に下線を引いてください。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときはその理由を明記してください。 （例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能） ・ 学会誌、雑誌等はその名称の他、巻・号まで記入してください。 ・ 学会誌等に投稿予定のものは含めないでください。 ・ 記入欄が不足した場合は同一様式の別紙に記入し添付してください。 ・ 本研究科における研究計画の内容と特にかかわりのある「著書」、「学術論文」、「翻訳」、「学会発表の要旨」等がある場合は、それらを証明できる資料（コピー可）を添付してください。 掲載予定のものについては、掲載証明書を添付してください。 ・「学位論文」（修士論文または博士論文）（コピー可）を添付してください。 ・修士論文などを現在執筆中の者においては、その概要を示す「要旨」及び「抄録」のいずれかを提出してください。	●	●
(4)志望理由及び研究計画書 （所定用紙２）	**必ず希望する研究指導教員と履修・研究等について相談し、指導の同意を得てください。** ・「2026 年度研究指導担当教員及び研究指導領域」、「〔博士課程〕研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）」参照。	●	●
(5)修士課程(博士前期課程)学業成績証明書	出身大学長が作成し、厳封したもの。	●	●
(6)修士課程(博士前期課程)修了(見込)証明書	出身大学長が作成したもの。	●	●
(7)資格取得に関する証明書	厚生労働大臣により発行された以下の免許証（写し） ○運動器柔道整復学専攻 ・柔道整復師免許証	△	△

(8)承諾書 （所定用紙３）	入学後に在職予定の者は、雇用責任者または代表者の承諾書を提出してください。	△	△
(9)在職証明書または 派遣証明書（所定用紙４） ※所定用紙と同内容であれば、所属機関が発行したものでも可。	現在在職中で【社会人選抜】で出願する者 出願要件を満たすことを証明できる在職証明書または派遣証明書を提出ください。但し、ご事情により在職証明書が提出できない場合は、第 3 者の証明による書面等をご提出頂くことでも構いません。在職証明書以外の第 3 者の証明による書面は、例えばハローワークで発行される雇用保険受給資格者証や、勤務先における健康保険証に記載の雇用開始日（資格取得年月日）により期間を確認することができますので、こちらのコピーを在職証明書の代わりに提出することも可能とします。		●
(10)外国籍を有する者の出願書類	外国籍を有する者で、現に日本国内に在住し、在留資格が「特別永住者」、「永住者」の者は、住民票の写しまたは住民票記載事項証明書（3 か月以内に発行されたもので、国籍、在留資格、在留期間を明記したもの）を提出してください。	△	△
【救急災害医療学専攻のみ】 (11)推薦状：提出任意 （書式自由）	提出は任意とします。書式は自由とし、1600 文字程度で作成してください。 ※ 推薦状は「任意提出」であり、提出有無による合否判定に影響するものではありませんので予めご承知おきください。	任意	任意

在留外国人の方・外国の学校出身の方へ

★ 在留外国人の方は、必ず確認してください。

最終学歴の各種証明書について

日本国外（中国を除く）の大学・大学院を卒業・修了した方

卒業・修了証明書等に取得学位の記載がない場合には、学位取得証明書も提出してください。

中国の学校を卒業または修了した方は、「中国の学校を卒業・修了された方へ」に記載されている通りに書類を提出してください。

最終学歴の各種証明書は、原則として日本語または英語で表記された原本に限ります。

日本語または英語以外の言語で表記されている場合は以下の書類を提出してください。

各種証明書の原本※	出身学校から発行されたもの。 出身学校から 1 部しか発行されない場合は、公的機関が発行する Certified true copy でも構いません。
日本語または英語翻訳文※	大使館や自国公証処等の公的機関で認証を受けたものに限る。

※日本語教育機関（日本語学校等）が発行・認証するものは認めません。

中国の学校を卒業・修了された方

中国の学校を卒業・修了された方は、以下の書類を提出してください。

証明書類の入手に時間を要することが想定されます（申請から発行まで 5 週間程度かかる場合もあります）ので、早めに準備をしてください。

（1）卒業証書・卒業証明書「学歴認証書」(Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

（2）成績証明書 「成績認証書」(Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript を提出する場合は下記の注意事項をよく読んで手続きしてください。

（3）学位取得証明書「学位認証書」(Verification Report of China Higher Education Degree Certificate)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

博士課程を受験する方は、修士学位（Master's Degrees）を取得していることが証明されていること。

※ 1 Online Verification Report of China Higher Education Degree Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

学歴、成績、学位の認証書は CHSI 中国高等教育学生信息網（ https://www.chsi.com.cn/en/pvr/ ）が取り扱っています。
日本国内では CHSI 日本代理機構（ http://www.chsi.jp/ ）での発行申請が可能です。

※ 1 電子データの認証書を提出する場合は、出願期間内に CSSD 教育部学生服务与素质发展中心から直接、日本体育大学大学院教学センター（ daigakuin@nittai.ac.jp ）に電子メールで送信されるように申請してください。

志願者による電子メールの転送は出願書類として認めません。出願期間を過ぎた場合は出願を受理しないことがありますので、気をつけて手続きをしてください。

６．出願手続

「Web 出願の流れ」を確認して手続きしてください。出願は Web 出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web 出願は 24 時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日 23 時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアや ATM など、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

（１）入学検定料の支払い

入学検定料：１受験につき３５，０００円

Web 出願サイト「STEP 5 （入学検定料の支払い)」に従って支払手続きをしてください。

（２）必要書類の郵送

Web 出願完了後に、Web 出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角 2 封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録郵便」で郵送してください。「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。なお、窓口出願は行っておりません。詳細については、「STEP 6 （必要書類の郵送)」を確認してください。

①志願票・写真票

入学検定料支払後、出力可能となります。A4 サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。

②選抜毎の提出書類

詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

◎注意事項

① 不備のある出願書類や出願締切日後に到着した出願書類は一切受け付けません。

② 一度提出した出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。

【入学検定料の返還請求（払込手数料を除く）ができる場合】

・入学検定料を支払ったが、本学に出願書類を発送しなかった。または出願書類が受理されなかった。

・入学検定料を誤って二重に支払った。

③ 提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願や合格を取り消すことがあります。

７．障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する方で、けが及び障がいのために受験上の配慮を必要とする方は、出願の前に、必ず事前相談をしてください。出願の際には下記の書類が必要となりますので、予めご了承願います。なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期にご相談ください。

《事前相談の方法》

事前相談の申請は、「申請書類」の「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報は、支援内容検討のために関係部署と共有します。必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に大学院教学センターに確認してください。

申請書類

1．「入学試験に係る事前相談について」

2．医師の診断書（原本又は写し）

3．障害者手帳（氏名・障がい名の頁の写し）（所持者は提出してください。）

4．その他相談する際に必要と考えられる参考資料

８．受験票について

出願書類到着後、Web 出願の登録内容をもとに本学が作成し、Web 出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。「STEP 7 （受験票の印刷)」を参照のこと。

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※ 試験 3 日前までに Web 出願サイト上に受験票が確認できない場合、大学院教学センターまで連絡してください。

９．選抜要領

〔試験実施日〕

Ⅰ期試験：2025 年 11 月 8 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟
Ⅱ期試験：2026 年 2 月 7 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟

選抜区分	受付時間	試験時間	試験科目	実施要領等
一般選抜 社会人選抜	8:30～9:00	9:30～10:30	専門科目 （60 分）	・各専攻に関する専門的知識を問う。 ・出願した専攻に関する問題を解答する。
		11:00～12:00	英語 （60 分）	・ 読解力を問う 1 問題を解答する。 ・ 語学辞書の使用可
		12:20～	口述試験	【発表・説明】 ・これまでの研究概要の発表 ・志望動機及び入学後の研究計画等の説明 【質疑応答】 ・専門分野に関する事項 ・研究課題及び研究計画等に関する内容 ※資料等の使用可。但し、試験担当者への資料配布は不可。 ※試験は日本語で行う。

１０．受験上の注意

（１）試験当日の注意事項

① 持参するものについて
「受験票」、「筆記用具」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く)」、「昼食・飲み物」（任意）
※受験票を紛失または忘れた場合は、試験当日、受付に申し出てください。

② 受付で受験票を提示してください。受付後は、速やかに指定された試験場へ入室してください。また、受付後に担当者の許可無くキャンパス内を出歩くことはできません。なお、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。

③ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、すべての試験が終了するまでかばん等にしまってください。これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていると不正行為となることがあります。

④ 車での来学はできません。公共交通機関をご利用ください。
試験前日までに可能な限り試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。

⑤ 試験開始後 30 分を超えた遅刻は認めません。

⑥ 公共交通機関の事故等により、受付時間に間に合わない場合は、直ちに大学院教学センター（03-5706-0915）へ連絡するとともに、交通機関において遅延証明書の交付を受けてください。

⑦インフルエンザ等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験生に感染するおそれがあるため受験はできません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

（２）試験時間中の注意事項

①「受験票」は、試験担当者が見やすいように机上に置いてください。

②「受験票」の他に試験時間中、机上に置けるものは、以下とします。

- 黒鉛筆（HB)、シャープペンシル（HB）
- 鉛筆キャップ
- プラスチック製消しゴム
- 鉛筆削り（電動式・ナイフ類を除く）

・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く）
・ 眼鏡
・ ハンカチ
・ ティッシュペーパー（袋または箱から取り出した紙のみであること）
・ 目薬

※ 英語試験時に限り、語学辞書の使用が可能です。なお、英語試験時に使用可能な辞書とは、「英和辞書」、「中日辞書」、「韓日辞書」等の語学辞書に限ります。電子辞書、電子手帳等は使用できません。また、医学等専門用語の語学辞書は使用できません。（付箋等は予め取り除いてください。）

③「耳せん」は、試験担当者の指示等が聞き取れないことがありますので、試験場内では使用できません。

④ 試験時間中に退室はできません。体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。但し、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。

⑤ 試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。

１１．合格発表

Ⅰ期試験（11 月実施）：2025 年 11 月 14 日（金）10 時

Ⅱ期試験（ 2 月実施）：2026 年　2 月 13 日（金）10 時

合格発表は合格者のみ通知します。学内掲示は行いません。本学の正式な合格発表は、合格発表日に合格証明書等の発送をもって行いますが、受験生の便宜を考慮し、「合否照会システム（インターネット）」による合否案内を行います。

なお、不合格通知書は送付いたしません。また、本学に直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けませんので、下記照会方法をご確認ください。

（１）利用方法・注意点

① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。

② 合否照会について、「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。

③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。

④ 合否照会システムの利用期間は次のとおりです。

合否照会システム利用期間		
Ⅰ期試験	2025 年 11 月 14 日（金）～ 2025 年 11 月 28 日（金）	初日 10：00 ～
Ⅱ期試験	2026 年 2 月 13 日（金）～ 2026 年 2 月 27 日（金）	最終日 23：59 まで

（２）インターネット（携帯電話・パソコン）での照会

https://www.gouhi.com/nittai/

合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。

また、本学ホームページ（https://www.nittai.ac.jp/）より、上記アドレスへアクセスできますので、ご利用ください。

１２．入学手続

（１）入学手続時納入金の手続締切日

Ⅰ期試験：2025 年 11 月 28 日（金）

Ⅱ期試験：2026 年 2 月 27 日（金）

① 入学手続時納入金は、合格証明書に同封されている所定の「振込用紙」を使用し、手続締切日までに金融機関窓口で手続を行ってください。

② 合格者で手続締切日までに入学手続時納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。

③ 振込金受領書（本人保存）は、入学手続をした証明になりますので大切に保管してください。

（２）入学辞退について

【窓口】 2026 年 3 月 31 日（火） 17：00 まで

【郵送】 2026 年 3 月 31 日（火） 消印有効（速達・簡易書留としてください。）

入学手続時納入金を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。入学金を除く納入金を返還します。なお、返還には期間を要しますので、早急に手続きをしてください。

○提出先：日本体育大学 大学院教学センター

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7－1－1

TEL 03-5706-0915 事務取扱時間：平日 8:30 ～ 17:00

冬季一斉休業期間：2025 年 12 月 27 日（土）～ 2026 年 1 月 5 日（月）

１３．学　　費

授業料は全額の 1/2 相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学手続時の納入金額は、入学金・授業料（前学期分納分）・健康管理費・学友会費・同窓会準会員費の合計金額となります。後学期は授業料（後学期分納分）のみとなります。

2026 年度 日本体育大学大学院保健医療学研究科　博士課程学費等一覧　（円）

費　目		納入期		金　額		
				●他大学出身で他大学院を修了した場合	●本学大学院博士前期課程・修士課程から継続して入学する場合（2025 年度修了者）	●2024 年度以前に本学大学院博士前期課程・修士課程を修了した場合 ●本学卒業後、他大学院を修了して入学する場合
①学　費	入学金	入学時のみ		300,000	0	150,000
	授業料	分納可	前学期	400,000	400,000	400,000
			後学期	400,000	400,000	400,000
	健康管理費	前学期		10,000	10,000	10,000
②その他費用	学友会費	前学期		13,000 （入会金 1,000 円を含む）	12,000	12,000
	同窓会準会員費	入学時のみ		10,000	0	0
総合計（①＋②）		年　額		1,133,000	822,000	972,000
		分納の場合	前学期	733,000	422,000	572,000
			後学期	400,000	400,000	400,000

※1 博士課程は厚生労働省の「教育訓練給付制度（一般教育訓練）」給付金対象講座です。

《寄付金について》

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。

但し、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

●「国の教育ローン」（教育貸し付け）について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和 54 年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫（日本公庫）が扱っています。

詳しくは教育ローンコールセンター 0570－008656（03－5321－8656）、または「国の教育ローン」で検索、https://www.jfc.go.jp/から「国の教育ローン」を選択してください。

Ⅲ．2026 年度 研究指導担当教員及び研究指導領域

博士課程

研究指導担当教員の表記内容		
★★	研究指導教員	研究指導を担当することができる
★	研究指導補助教員	研究指導教員とともに研究指導ができる

【注意事項】
出願前に必ずご自身の希望する研究指導教員と連絡を取り、担当教員とご自身の考えている研究内容を十分にご相談して下さい。事前の連絡を取らずに出願する事がないようにして下さい。

教員検索（大学HP 教員情報データベース）	研究者検索（国立研究開発法人科学技術振興機構）

運動器柔道整復学専攻

（専攻・50 音順）

教員名	研究指導領域
★★ 教授 伊　藤　　譲 博士（医学）	研究分野：柔道整復学 研究内容のキーワード：運動器外傷、スポーツ外傷、運動器疾患の評価、予防とコンディショニング、柔道整復師養成教育 原則として、修士課程で行った研究を継続、発展させます。また、以下の様なテーマの研究を行います。 １．運動器外傷学（閉鎖性運動器外傷に対する柔道整復術の評価等） ① コンディショニングと外傷発生との関連 ② 運動器の抗老化（アンチエイジング）を目指す運動プログラムの立案と指導法の確立 ③ 超音波観察装置を用いた運動器外傷の評価法の確立 ２．柔道整復教育学（柔道整復師教育の実践モデルの開発） ① 骨折および脱臼のシミュレーターを用いた教育手法と評価方法の確立 ② テキストマイニングによる柔道整復師像の明確化 ③ 卒後教育プログラムの開発と検証及び柔道整復師のキャリアアップ指標の作成 これまでに，また現在取り組んでいる研究テーマは以下の通りです。 ① 柔道整復師が養成施設卒業時に求められる能力 －テキストマイニングによるディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの分析－ ② 柔道整復師を目指す学生の生活習慣が健康度に与える影響 ③ 肘関節外反ストレステストにおける負荷力の可視化が肘関節内側裂隙距離に及ぼす影響 ④ 徒手検査の教育手法の開発　－肘関節外反ストレステストにおける負荷力フィードバックの有用性－ ⑤高校生の女性アスリートにおけるAIを活用した睡眠教育手法の開発 ⑥AIアシストラーニングの基礎医学教育への効果 ⑦柔道整復師養成施設学生のモチベーションの経時的変化
★★ 教授 稲　川　郁　子 博士（教育学）	研究分野：柔道整復学、教育学、柔道 研究内容のキーワード：柔道整復師、教育、柔道 柔道整復師と教育のあり方をめぐる以下のような研究課題について、特に質的手法を用いて検討し、柔道整復教育学の確立を目指します。 ① 柔道整復師の熟達化 ② 柔道整復師による一回起性の高い臨床経験のアーカイブ化 ③ 柔道整復師養成施設と教育 ④ 嘉納思想と柔道整復師

教員名	研究指導領域
★★ 准教授 上　倉　將　太 博士(スポーツ健康科学)	研究分野：トレーニング科学、アスレティックリハビリテーション 研究内容のキーワード：アスレティックリハビリテーション、運動療法、スポーツ理学療法、スポーツ外傷・障害の予防、コンディショニング 運動器の外傷・障害に対して、その疾病構造を理解し、臨床推論を基に病態を改善する運動療法とそれらの障害予防について研究する。 １．スポーツ障害に対する治療選択について検討する。 ① 運動療法（Functional Ex.等）の効果を、パフォーマンスの変化を用いて検証する。 ② 運動療法と組み合わせる物理療法（ラジオ波等）の設定や時間の違いによる効果判定。 ③ 障害予防の為のPrevention Ex.と競技力向上との関係性について検討する。 ２．健康増進領域での運動療法の活用を模索する。 高齢者の場合は、介護予防を目的とした身体機能改善を目的とした調査を行い、若年者においては成長期の身体活動量と身体機能の関係性に着目して調査する。また、アスリートに対して、コンディションチェック方法の確立と積極的なリカバリー方法について、さらに障害予防プログラムの有効性について調査研究を行う。
★★ 教授 久保山　和　彦 博士（体育科学）	研究分野：総合人文社会学 研究内容のキーワード：医療人類学、歴史人類学 当講座においては、身体に関わる総合的な研究知見を踏まえた上で、医療人類学、健康と医療の社会学など「社会研究」の枠組みに研究課題を設定する。その中心には伝統医学（柔道整復）を位置けて調査・研究を進めていく。 調査においては、健康や医療を希求する人間の様態を、人（個人）、人と人の関係性及び社会（集団）という層状のフェーズに対して、人類学的アプローチやフィールドワークを行い、蒐集した資料を基に横断・縦断的に分析していく。また、国内外の健康・医療界の構造やその様相を網羅的に把握することにより比較検討を試みる。 研究成果は、「伝統医学（柔道整復）の役割」その地域差・時代差など様態の差異・変容を明確化することにより、現代の健康・医療に関する課題に対して提言していく。
★★ 教授 小　嶋　新　太 博士（医学）	研究分野：スポーツコンディショニング・柔道の歴史 研究内容のキーワード：身体組成・筋力測定・歴史 スポーツコンディショニングに関する研究 ① 運動競技で起こる外傷・怪我についての研究 ・運動時に起こる脱臼・骨折についての分析 ・運動時に起こる靭帯損傷についての分析 ・運動時に起こる脳震盪の発生率についての分析 ② 柔道の歴史に関する研究 ・嘉納治五郎師範の生い立ちについての研究 ・オリンピックと柔道の関連性についての研究
★★ 講師 小　林　喜　之 博士（医学）	研究分野：複合領域 研究内容のキーワード：柔道整復学、外傷学、動作分析 ① 柔道整復領域における外傷や障害の病態の解明及び受傷機転の解析 ② 運動器外傷の後療法の形態・機能解剖に基づく治療効果の影響について ③ 健康寿命の延長を目的とした柔道整復術によるアプローチ ④ 競技パフォーマンス向上のための柔道整復術によるアプローチ
★★ 教授 小　山　浩　司 博士（体育科学）	研究分野：柔道整復学、スポーツ医学 研究内容のキーワード：超音波画像装置、運動器疾患、姿勢 柔道整復術の有効性を科学的手法で検証し、エビデンスに基づいた施術アプローチの確立を目指します。超音波画像装置を活用して施術による身体の変化を可視化し、その効果を客観的に検証します。現在、主に以下の研究に取り組んでいます。 ① 柔道整復施術前後における組織変化の比較研究 ② 運動器疾患に対する予防的アプローチに関する研究

教員名	研究指導領域
★★ 教授 白　石　　聖 博士（医学）	研究分野：運動器測定評価学、衛生学公衆衛生学 研究内容のキーワード：骨格筋循環、関節アライメント、スポーツ傷害、傷害予防、ヘルスプロモーション 健康の保持・増進に資することを目的とし、加齢による運動器機能の低下や外傷や障害の発生に関する構造的・機能的要因について研究を行う。修士課程では臨床から生まれた研究課題など比較的広い範囲を対象として科学的な分析を行う。 ① 骨格筋循環と筋機能低下および外傷・障害発生に関する研究 ② 関節アライメントと運動機能低下および外傷・障害発生に関する研究 ③ 健康寿命延伸のための歩行能力の保持・向上に関する研究
★★ 教授 橋　本　俊　彦 博士（医学）	研究分野：スポーツ医学、整形外科学、運動学 研究内容のキーワード：スポーツ外傷、要因分析、受傷機転の解析 スポーツ外傷は、環境的要因、身体的要因、心理的背景などの発生要因が複合的に誘因となり、受傷時の身体部位に生じる衝撃によって病態が決定される。この一連の過程に関連する以下の項目を研究テーマとする。 ① スポーツ外傷の発生する要因分析 ② スポーツ外傷における受傷機転の解析 ③ スポーツ外傷の予防
★★ 准教授 樋　口　毅　史 博士（医学）	研究分野：柔道整復術、パラスポーツ、障がいを持つ人のコンディショニングおよびトレーニング 研究内容のキーワード：柔道整復、運動器外傷学、重心動揺、パラスポーツ ① 柔道整復術が社会におよぼす影響について、施術方法、施術内容、施術料金等に関する検討 ② スポーツ現場における柔道整復師の役割・将来の可能性に関する検討。特に障がい者のスポーツに対する柔道整復師の役割について ③ 運動器損傷・障害の対処とスポーツ医および他の医療関連職種との連携に関する検討 ④ 小児から高齢者に対する外傷予防に関する検討。特に動的重心動揺特性について基礎的な研究
★ 教授 松　田　康　宏 博士（工学）	研究分野：生体医工学 研究内容のキーワード：血流計測、手技療法、物理療法 柔道整復師が行う様々な施術によって筋血流が変化すると言われている。しかし、それらの研究は他の医学分野に対して立ち遅れ、科学的な根拠に基づいた評価方法がいまだ確立されていない。そのことから、柔道整復師が行う徒手的に行う手技療法やストレッチング、医療機器を使用した物理療法などの治療法が筋肉血流にどのような影響を及ぼすのかを明らかにするための研究を進めていく。
★★ 准教授 渡　邉　　学 博士（体育科学）	研究分野：アスレティックリハビリテーション、トレーニング科学 研究内容のキーワード：スポーツ外傷・障害，障害予防、身体の構造、アライメント、身体動作 運動器の外傷と障害を研究テーマとする。 多様化する対象者の病態を理解し人々を支援する専門領域として、障害予防におけるアライメント評価とトレーニング方法に関する領域を研究する。 研究の実施は、身体の構造とアライメント、身体動作の3 つを基盤とする考えを軸とし、臨床に直結した研究を進める。また、柔道整復師における高度な専門知識と臨床技能の知見を深め、臨床で生じる疑問に対して、その現象を解明することを研究課題として検討する。 ① 障害予防における運動療法の検討 ② 身体動作とアライメントを改善するためのトレーニング方法と評価法の検討

救急災害医療学専攻　　（専攻・50 音順）

教員名	研究指導領域
★ 准教授 阿　藤　　聡 博士（スポーツ健康科学）	研究分野：トレーニング科学、運動生理学、骨格筋生理学
	研究内容のキーワード：レジスタンストレーニング、筋肥大、タンパク質代謝、多核体
	運動（筋収縮）による骨格筋の量・機能の可塑性機構、特にレジスタンストレーニング（いわゆる筋トレ）による骨格筋量の改善メカニズムについて分子・細胞レベルで理解することを目指して、実験動物や培養細胞など生物学的実験手法と研究グループが確立した実験動物のレジスタンストレーニングモデルを用いて研究を行っています。また、研究成果をアスリートの競技力向上へ利活用することや、加齢に伴う骨格筋量・機能低下（サルコペニア）の改善方法へ応用するための研究についても展開しています。博士課程では研究室で取り扱っているテーマの中で、自身で研究プロジェクトを立案・遂行し、その成果を査読付き学術雑誌に原著論文として公表するプロセスを経験することで、学位取得後にアカデミアや産業界など様々な分野で独立した研究者として活躍するための能力獲得を目指します。
★★ 教授 川　上　康　彦 博士（医学）	研究分野：臨床医学、臨床救急医学、小児神経学
	研究内容のキーワード：てんかん・酸化ストレス・脳波
	救急現場で遭遇する可能性の高いけいれん・てんかん等の神経疾患について、疫学的・神経生理（脳波）学的観点を含む特に酸化ストレスの神経生化学的視野から病態解析検討を行い、より良い治療法の開発を目指します。
★★ 准教授 鴻　﨑　香里奈 博士（体育科学）	研究分野：運動生理学、スポーツ医学、栄養学
	研究内容のキーワード：筋損傷、筋肥大、末梢神経損傷、サルコペニア、神経筋接合部、筋電気刺激、栄養介入、ケトジェニックダイエット、スポーツ損傷、伸張性収縮、肉離れ、がん悪液質、筋ジストロフィー、代謝、実験動物
	損傷、疾患、加齢による運動器機能不全や全身代謝の低下へ対する予防・改善手段（動、栄養介入など）の考案を目的として、実験動物や培養細胞を用いて分子レベルで発生機序や細胞応答を検証します。また研究によって得られる成果は、スポーツ現場や医療現場へ積極的に応用することを目指します。 研究テーマ ・ 運動誘発性筋損傷による神経損傷の発生機序と病態メカニズムの解明 ・ デュシェンヌ型筋ジストロフィーモデルラットを用いた運動器へ対する効果的な介入方法の検討 ・ 加齢による運動器機能低下へ対する効果的な介入方法の検討 ・ 悪液質による運動器機能低下へ対する効果的な介入方法の検討
★★ 教授 小　林　正　利 博士（医学）	研究分野：顕微解剖学、健康教育学
	研究内容のキーワード：組織化学　エネルギー代謝、健康教育学
	動物実験モデルを作製し、解剖学的手法、組織化学的手法を用いて形態学的に健康維持増進、救急医療に係わる因子について探索し検討します。 主な研究内容は ① 骨格筋再生に関わる細胞の相互関係についての3 次元解析および組織学的検討 ② エネルギー代謝に関わる因子の組織化学的検討 について行います。

教員名	研究指導領域
★★ 教授 鈴　木　健　介 博士（医学）	研究分野：救急医学、災害医学 、病院前救急救命学、VR、DX、生成系AI、在宅医療 研究内容のキーワード：仮想現実、学校における災害時の対応、学校における緊急時の対応、災害医療ロジスティクス、ファーストレスポンダー、データベース、熱中症 博士課程では、主に以下の過程を重視し、研究者としての自律できる能力を培う。 ・研究倫理を学ぶ ・研究計画を実行する ・統計学的な解析を行う ・学術論文を作成する ・国内外の雑誌に投稿する ・国内外で学会発表を行う 病院前救急救命学領域では、ILCOR などのガイドラインに基づく救急蘇生法に関する分野から、Clinical Question を検討し研究指導を行う。また、国際的な救急システムの違いから比較研究を実施する。 欧米だけでなくアジアにおける救急システムの研究を実施する。 災害医療学領域では、国内外の災害対応や予防の観点から、Clinical Questionを検討し、研究指導を行う。生成系AIを用いた研究法にも積極的に取り組む。 最新の研究テーマに関しては、Researchmapを参照。　https://researchmap.jp/kensuke0920
★★ 教授 中　里　浩　一 博士（学術）	研究分野：運動生理学、骨格筋生理学・生化学 研究内容のキーワード：骨格筋、運動神経、細胞外マトリックス 加齢や慢性炎症、あるいは筋ジストロフィーなどの筋疾患に伴う骨格筋の萎縮や筋力の低下を骨格筋および運動神経、神経筋接合部、細胞内代謝の変化を通じて理解し、物理療法などによってその予防法の開発を目指す研究、ヒトにおける遺伝子多型を動物にて再現しその評価やメカニズムを解明することを目的とした研究などを主に行なっています。細胞、動物を取り扱うことで分子メカニズムの解明を目指した研究に取り組んでいただきます。
★ 教授 中　澤　真　弓 修士（健康科学） 修士（防災政策）	研究分野：救急医療・救急医療政策・消防・防災 研究内容のキーワード：救急救命士・救急医療・消防・防災・女性活躍 救急業務の社会問題解決を目指した救急医療政策及び防災政策についての研究を行います。 ① 心停止からの社会復帰率向上を目指した救急医療政策研究 ② 救急車の適時・適切な利用、需要対策についての検討 ③ 予防救急、Pre-ambulanceの検討 ④ 救急隊の効果的な活動方策 ⑤ Pre-hospitalにおける女性活躍推進
★ 准教授 成　川　憲　司 博士（救急災害医療学）	研究分野：救急医療、心肺蘇生 、救急車の需要対策、救急救命士の労務環境、医療過疎地域の対応 研究内容のキーワード：救急救命士、ファーストレスポンダー、心肺蘇生 救急領域いおける課題や問題点の抽出をデータによって示すとともに、研究結果を実装社会にまで落としこみ社会貢献することを目的とする。 主に、以下の領域を想定する。 ①心肺停止からの社会復帰率を向上を目的とした 　ー教育的観点 　ーレスポンス時間の短縮 ②地理的観点からの医療格差 ③医療過疎における急性期医療のあり方 ④救急救命士による地域社会への貢献 　ー病院内で働く救急救命士の意義など ⑤スポーツイベントにおけるファーストレスポンダーの配置や対策

教員名	研究指導領域
★★ 教授 橋　本　典　生 博士（医学）	研究分野：医学
	研究内容のキーワード：サルコペニア、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、スポーツ喘息、呼吸機能
	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の死亡リスク因子は身体活動性の低下でありサルコペニアが関与している。また、サルコペニアを合併することで呼吸困難感も増悪するため、サルコペニア合併に伴う身体活動性の低下や呼吸機能への影響を詳細に検討することが求められている。臨床研究において患者さんより各種パラメーターを測定することで、身体活動や呼吸機能低下の改善につながるリハビリテーションへと応用して行きたいと考えている。また、スポーツ喘息や熱中症予防に関しても興味を持っている。 主な研究内容。 ① COPDサルコペニアに対する運動療法の効果 ② 尿中エクソソームを用いたサルコペニアの診断の可能性 ③ 老人施設在住の高齢者の呼吸筋サルコペニアと誤嚥性肺炎の関連 ④ スポーツ喘息と血中のn-3 系多価不飽和脂肪酸やn-6 系多価不飽和脂肪酸の関連 ⑤ 頸部冷却の熱中症予防の可能性
★ 助教 原　田　　諭 博士（救急災害医療学）	研究分野：救急災害医療学、病院前救急医療
	研究内容のキーワード：救急現場活動、防災活動、教育（消防、救急）、Virtual reality
	救急・災害現場と教育研究を組み合わせ、より安全・確実な救命・防災活動の実現に貢献できるテーマで研究します。 ①救急現場活動の実態把握と効率化 　→ 救急現場における判断・対応過程の分析 ②地域防災活動、災害対応力の強化 　→ 自治体・住民との連携、防災訓練プログラムの評価、避難行動分析 ③消防・救急教育の効果測定および教材開発 　→ 職員教育や学生教育におけるカリキュラム評価、VRやシミュレーションを活用した教育法の開発と検証 ④VRを活用した災害医療・救急訓練の教育効果の検証 　→ 没入型学習の教育効果評価、VRコンテンツ開発とその活用法の検討 これらのテーマを通じて、実践と教育の現場をつなぐ実証的な研究を進めています。特に、VRなどの最新技術を用いることで、従来の教育では困難だった実践的な学びや臨場感のある訓練を可能にし、より高い教育効果を目指しています。
★★ 教授 増　野　智　彦 博士（医学）	研究分野：救急医学、外傷学 、病院前救急医療システム、心肺蘇生、熱中症、災害医学
	研究内容のキーワード：ショック、蘇生、病態生理、病院前救急医療、災害対応、救急医療を通した社会貢献
	病院前救急医療・救急外傷医療・災害医療の現状を分析し、抱える問題点を抽出するとともに、改善・解決のための方策を検討し、救急救命士の社会貢献、活躍の場の拡大につながる研究を行う。博士課程では研究目的達成に向け、詳細な文献検索、実施可能な研究立案、研究計画の策定・実施、研究結果の分析および評価を行い、研究結果の社会への発表により、より良い救急医療の実践に寄与する。主に以下の領域のテーマにつき研究する。 ①病院前救急医療に必要な知識・手技の効果的な教育・訓練方法 ②効果的な病院前救急活動、処置拡大 ③ショック、心肺停止時の病態生理および効果的な処置 ④熱中症の病態生理、予防・対処方法の社会啓発 ⑤スポーツ施設、マスギャザリング会場での効果的な救護 ⑥災害時に効果的活動を行うための教育・準備 ⑦救急救命士の職務・職域の拡大
★★ 准教授 山　田　真吏奈 博士（医学）	研究分野：医歯薬学、教育工学
	研究内容のキーワード：感染症、行動薬理
	災害や救急現場で遭遇する緊急度の高い疾患について生物学的・疫学的な手法を用いることで、病態解析、予後予測法（バイオマーカー）および治療方法の開発を検討しています。 メッセージ：豊かな人間性と研究能力を備えた人材の育成を試みています。研究者として、病で苦しむ患者様に笑顔を届ける研究をしてみませんか？

［博士課程］研究指導教員一覧表(研究指導補助教員を含む)

（教員資格欄）指導－研究指導教員、(補助)－研究指導補助教員　　市街局番　・東京(03)、・横浜(045)

	教員資格	氏名	フリガナ	所属専攻（兼任）	東京・世田谷キャンパス 電話番号	横浜・健志台キャンパス 電話番号	メールアドレス
あ	(補助)	阿藤　聡	ｱﾄｳ ｻﾄﾙ	救急災害医療学専攻		507-7829	ato.s@nittai.ac.jp
	指導	伊藤　譲	ｲﾄｳ ﾕｽﾞﾙ	運動器柔道整復学専攻		507-6245	itoh@nittai.ac.jp
	指導	稲川　郁子	ｲﾅｶﾞﾜ ｲｸｺ	運動器柔道整復学専攻		507-1519	inagawa@nittai.ac.jp
か	指導	上倉　將太	ｶﾐｸﾗ ｼｮｳﾀ	運動器柔道整復学専攻		507-3421	s-kamikura@nittai.ac.jp
	指導	川上　康彦	ｶﾜｶﾐ ﾔｽﾋｺ	救急災害医療学専攻		507-7634	kawakamiy@nittai.ac.jp
	指導	久保山　和彦	ｸﾎﾞﾔﾏ ｶｽﾞﾋｺ	運動器柔道整復学専攻		507-6332	kuboyama@nittai.ac.jp
	指導	鴻﨑　香里奈	ｺｳｻﾞｷ ｶﾘﾅ	救急災害医療学専攻		507-7820	kouzaki@nittai.ac.jp
	指導	小嶋　新太	ｺｼﾞﾏ ｱﾗﾀ	運動器柔道整復学専攻	5706-1037		kojimajudo@nittai.ac.jp
	指導	小林　正利	ｺﾊﾞﾔｼ ﾏｻﾄｼ	救急災害医療学専攻	5706-1251		m-kobayashi@nittai.ac.jp
	指導	小林　喜之	ｺﾊﾞﾔｼ ﾖｼﾕｷ	運動器柔道整復学専攻		507-3487	y-kobayashi@nittai.ac.jp
	指導	小山　浩司	ｺﾔﾏ ｺｳｼﾞ	運動器柔道整復学専攻		507-7993	k-koyama@nittai.ac.jp
さ	指導	白石　聖	ｼﾛｲｼ ｷﾖｼ	運動器柔道整復学専攻		507-1732	shiroishi@nittai.ac.jp
	指導	鈴木　健介	ｽｽﾞｷ ｹﾝｽｹ	救急災害医療学専攻		479-6278	k-suzuki@nittai.ac.jp
な	指導	中里　浩一	ﾅｶｻﾞﾄ ｺｳｲﾁ	救急災害医療学専攻	5706-0821	507-1644	nakazato@nittai.ac.jp
	(補助)	中澤　真弓	ﾅｶｻﾞﾜ ﾏﾕﾐ	救急災害医療学専攻		507-7294	nakazawamayumi@nittai.ac.jp
	(補助)	成川　憲司	ﾅﾘｶﾜ ｹﾝｼﾞ	救急災害医療学専攻		507-7826	kenji.narikawa@nittai.ac.jp
は	指導	橋本　俊彦	ﾊｼﾓﾄ ﾄｼﾋｺ	運動器柔道整復学専攻		507-1286	hashimoto776@nittai.ac.jp
	指導	橋本　典生	ﾊｼﾓﾄ ﾐﾂｵ	救急災害医療学専攻	5706-0862		mitsuo-hashimoto@nittai.ac.jp
	(補助)	原田　諭	ﾊﾗﾀﾞ ｻﾄｼ	救急災害医療学専攻		507-7281	satoshi.harada@nittai.ac.jp
	指導	樋口　毅史	ﾋｸﾞﾁ ﾀｹｼ	運動器柔道整復学専攻		507-5374	t.higuchi@nittai.ac.jp
ま	指導	増野　智彦	ﾏｽﾉ ﾄﾓﾋｺ	救急災害医療学専攻		507-7691	masuno@nittai.ac.jp
	(補助)	松田　康宏	ﾏﾂﾀﾞ ﾔｽﾋﾛ	運動器柔道整復学専攻		507-5269	ymatsuda@nittai.ac.jp
や	指導	山田　真吏奈	ﾔﾏﾀﾞ ﾏﾘﾅ	救急災害医療学専攻		507-7620	myamada58@nittai.ac.jp
わ	指導	渡邉　学	ﾜﾀﾅﾍﾞ ﾏﾅﾌﾞ	運動器柔道整復学専攻		507-1343	watanabe-ma@nittai.ac.jp

Web出願サイトによる登録だけでは出願完了となりません。必ず支払期限までに入学検定料を支払い、必要書類提出期限までに特定記録・速達郵便にて送付してください。必要書類が本学で受理された時点で出願完了となります。必要書類提出期限までに届かない必要書類はいかなる理由でも受け付けません。

Web出願の流れ

入学検定料支払い前であれば、正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 入学検定料の支払い → STEP 6 必要書類の郵送 → STEP 7 出願完了 → 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。（スマートフォン、タブレットは非推奨）
必要書類※は、準備に時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、各選抜毎の提出書類など

STEP 2 Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ https://e-apply.jp/ds/nittai-net/

または、

大学ホームページ ▶ https://www.nittai.ac.jp/

からアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 > を
クリックしてください。

③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。

④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。

※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を
行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。

⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②大学・大学院区分の選択

③選抜区分選択と留意事項の
確認

④志望学部等の選択

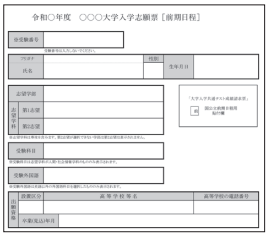
⑤顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑥個人情報（氏名・住所等）の
入力

⑦出願内容の確認
志願票（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。

⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）										

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）											
確認番号メモ（6桁）											
収納機関番号（5桁）	5	8	0	2	1						

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードまたはネットバンキングを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

Webで手続き完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
LAWSON
MINISTOP
マルチコピー機
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

Pay-easy

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う※
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える

ローソン ミニストップ

Loppi
「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「マルチペイメントサービス」を選択
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。

ファミリーマート

マルチコピー機
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認

取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

セイコーマート

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う※

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

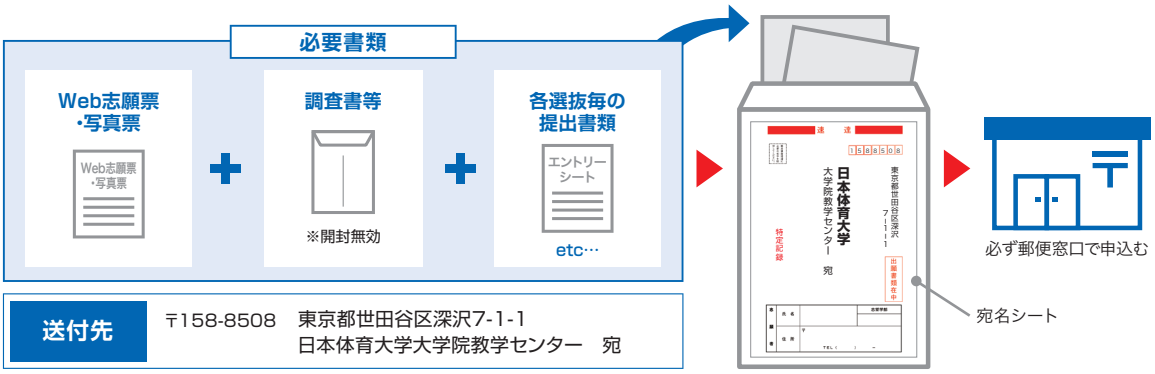
※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6

必要書類の郵送

Web出願登録・入学検定料支払いを行っただけでは出願は完了していませんので注意してください。

登録完了画面または確認メールに記載されている必要書類を、出願期間内に郵便局窓口から「速達・特定記録郵便」で郵送してください。（出願期間内消印有効）



送付先　〒158-8508　東京都世田谷区深沢7-1-1
日本体育大学大学院教学センター　宛

■出願書類

出願書類に関しては以下の表を確認してください。

必要書類	必要部数	内　容
①Web志願票・写真票	各1	入学検定料支払後、出力可能となります。 A4サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。
②各選抜毎の提出書類	1	詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

※出願受理した必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

STEP 7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に**出願期間受付終了後から試験3日前までに**一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください（**※郵送はいたしません**）。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**にしてください。

≪出願写真に関する注意事項≫

適切な写真例

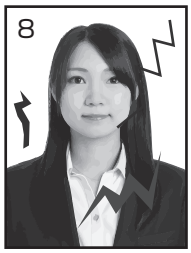
縦４cm

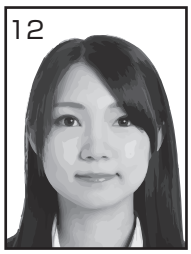
横 3cm

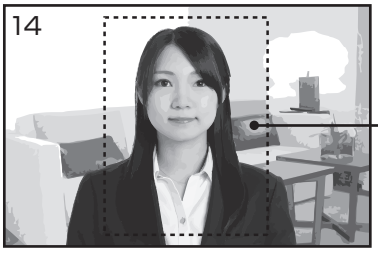
■写真の規定

- ●写真サイズは縦４cm× 横 3cm
- ●カラー写真、白黒写真いずれも可とします
- ●出願前３ヶ月以内に撮影したもの
- ●背景は無地（白・青・グレー）に限ります
- ●正面を向いた本人の顔がはっきり確認できるもの
- ●上半身で脱帽、頭部全体が写っている
- ●所定用紙（受験票・写真表・志願表）に貼付する写真は、全て同一の写真を貼付してください

下記項目に該当する場合は受付できませんのでご注意してください。







■ 受付できない写真例

1, 被写体が不鮮明（画像が荒い）

2, スナップ写真･SNS･ブログ等から流用した写真

3, 眼鏡のレンズに光が反射している

4, 頭上の余白部分が多い

5, サングラスやマスクをしている

6, 前髪や前髪の影で目を隠し、顔が確認できない

7, ヘアバンドや帽子で頭髪を覆っている

8, 変色していたり、キズや汚れがある

9, 証明写真を再撮影したもの

10, 被写体が正面を向いていない

11, 被写体が小さい

12, 被写体が大きすぎて写真からはみ出している

13, 写真サイズが横に長い

14, 背景に家具等が写っている

※該当する場合は必ず撮り直してください。